

飯田市立病院新改革プランの進捗状況の報告及び今年度の経営状況について

市立病院事務局経営企画課

1 飯田市立病院新改革プラン

(1) 進捗状況

策定 平成29年3月2日（令和元年9月2日最終改訂）

計画期間 平成29年度から令和3年度までの5年間

計画の位置付け 飯田市立病院中期計画(R1～R3)の「健全な病院経営」に関する部分

計画目標	前年度実績	R3年度実績	R3年度目標
経常利益	5億9576万円	2億2321万円	期間中黒字
①一般病棟新規入院患者数(月平均)	785人	775人	870人
②一般病棟入院単価(包括分)の増加	37.4千円	36.6千円	36.5千円
③一般病棟入院単価(出来高分)の増加	42.2千円	42.5千円	43.5千円
④地域包括ケア病棟新規入院患者数(月平均)	32人	25人	80人
⑤地域包括ケア病棟平均在院日数の適正化	6.9日	5.9日	15日
⑥医薬材料費の抑制(対医業収益比率)	23.7%	24.5%	23%以内

【その他の主な指標】

指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
資金残高	38.91億円	38.81億円	39.70億円	48.84億円	53.32億円
企業債残高	62.79億円	55.05億円	52.19億円	50.22億円	47.76億円

【参考指標】～日本病院会QIプロジェクト令和3年度報告書より

参加病院数352

主なQI指標	当院		参加病院平均値
	前年度	R3年度	R3年度
外来患者満足度(満足・やや満足計)	94.7%	94.6%	83.6%
入院患者満足度(満足・やや満足計)	97.7%	96.1%	90.1%
褥瘡発生率	0.03%	0.05%	0.14%
入院患者の転倒・転落発生率	2.37%	2.09%	2.82%
紹介率	90.5%	88.5%	62.2%
救急車・ホットライン応需率	99.8%	99.6%	79.2%
糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率	72.2%	70.6%	66.1%
30日以内の予定外再入院率	3.8%	3.5%	2.2%
薬剤管理指導実施割合	-	78.8%	74.3%

注：QI(Quality Indicator)とは「質を表す指標」であり、市立病院では日本病院会のQIプロジェクトへ平成29年度から参加しています。QIプロジェクトは「自院の診療の質を知り、経時的に改善する」ことを目的とし、医療の質を測定、評価、公表するための指標の検討と各病院でPDCAサイクルを病院の運営管理の手法に組み込むことを促す役割を担っています。

(2) 次期プランについて

市立病院新改革プランの計画期間は、令和3年度をもって終了しました。次期プランの策定に関し、今年3月、総務省から「経営強化プラン」策定のためのガイドラインが示されており、市立病院では経営強化プランの策定について院内で検討を開始しています。

次期プランは院内での検討の後、市の内部検討を経て、令和5年第1回定例会へ報告する予定としています。

2 今年度の経営状況（各年4月～9月の数値の推移）

(1) 患者数

(単位：人)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	増減 (R4-R元)	増減率% (R4/R元)
延患者数	168,435	147,854	156,374	152,969	△ 15,466	△ 9.2
入院患者数	58,286	49,203	51,643	49,002	△ 9,284	△ 15.9
外来患者数	110,149	98,651	104,731	103,967	△ 6,182	△ 5.6

入院延患者数の推移（人）

R4	49,002
R3	51,643
R2	49,203
R1	58,286

外来延患者数の推移（人）

R4	103,967
R3	104,731
R2	98,651
R1	110,149

(2) 損益計算書（消費税抜）

(単位：千円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	増減 (R4-R元)	増減率% (R4/R元)
病院事業収益	6,642,723	6,149,453	6,892,198	6,867,059	224,336	3.4
医業収益	6,240,948	5,767,628	6,202,031	6,110,662	△130,286	△ 2.1
うち入院	4,214,108	3,911,465	4,125,552	4,012,255	△201,853	△ 4.8
うち外来	1,683,808	1,545,970	1,679,612	1,721,592	37,784	2.2
医業外・特別利益	401,775	381,825	690,167	756,397	354,622	88.3
病院事業費用	5,182,816	5,128,039	5,316,710	5,335,849	153,033	3.0
医業費用	5,137,144	5,086,679	5,278,118	5,298,626	161,482	3.1
うち給与費	3,081,571	3,160,552	3,199,304	3,226,262	144,691	4.7
うち材料費	1,417,421	1,351,350	1,499,536	1,474,266	56,845	4.0
うち経費	590,163	548,443	561,994	571,154	△19,009	△ 3.2
医業外費用	45,672	41,360	38,592	37,223	△8,449	△ 18.5
損益	1,459,907	1,021,414	1,575,488	1,531,210	71,303	4.9

入院収益の推移（億円）

R4	40.1
R3	41.3
R2	39.1
R1	42.1

外来収益の推移（億円）

R4	17.2
R3	16.8
R2	15.5
R1	16.8

給与費の推移（億円）

R4	32.3
R3	32.0
R2	31.6
R1	30.8

材料費の推移（億円）

R4	14.7
R3	15.0
R2	13.5
R1	14.2

(3) 今年度の経営状況に関する特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症への対応では、引き続き重点医療機関の指定を受け専用病棟を確保し、保健所を中心とした地域の関係機関と連携、役割分担して診療にあたっています。一方、今年7月からの第7波では職員が陽性者や濃厚接触者となり勤務体制に支障が生じる例も発生し、予定入院や手術の延期など通常医療に影響が及びました。
- ・今年4月の診療報酬改定の影響を分析し院内で共有するとともに、改定の趣旨に沿った対応を進めることで、医療の質の向上とともに診療単価を向上させる取組を進めています。
- ・今年4月からスタートした市立病院第4次中期計画に関し、患者さん中心の医療の実践、地域医療連携の推進、院内DXの取組など、各部署で目標達成に向けた取組を進めています。